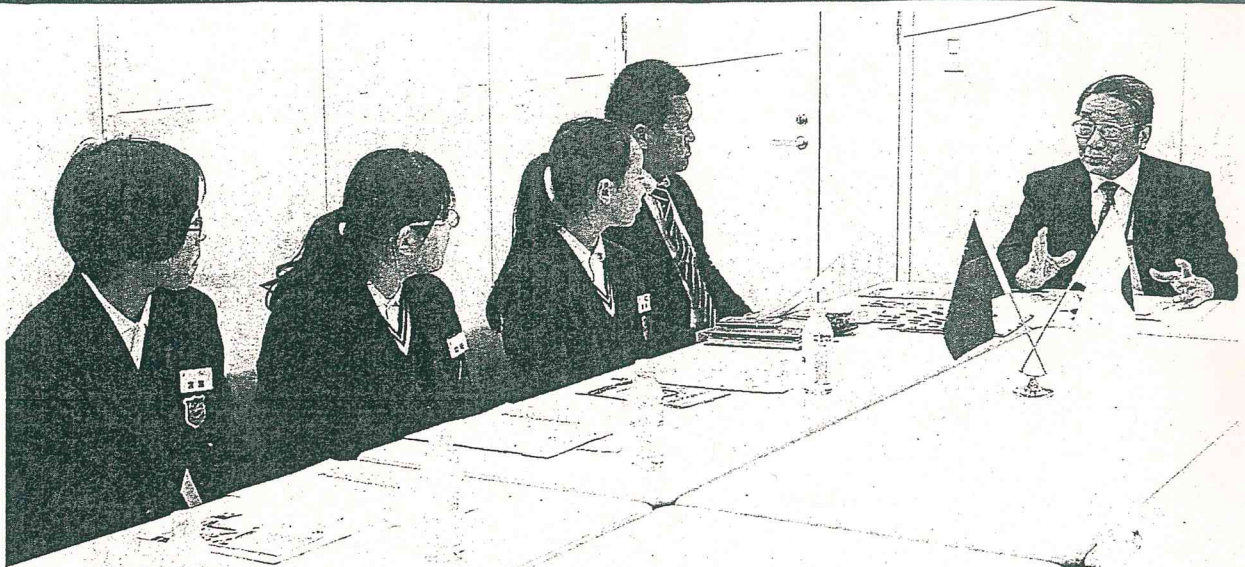




台湾を訪問する生徒らに、台湾の歴史や日本との関係について説明する羅文化教育課長

「将来役立つ経験に」 弁事所に出発あいさつ

墨江丘中生が台湾訪問へ

北区



冬休み中に台湾の中学校を訪問する住吉区

墨江の市立墨江丘中（渡辺雅彦校長）の生徒らが14日、台湾の領事館に相当する台北駐大阪経済文化弁事所（北区中之島）を訪れ、出発のあいさつと意気込みを語った。

（光長いづみ）

9人、意気込み語る

同校では、2014年度から国際交流事業として、台湾新北市立正德國民中学と姉妹校提携を結び、生徒の相互派遣を行っている。今年9月には、台湾側の生徒を受け入れ、給食や授業、部活動を一緒に取り組んだ。

台湾には英語と日本語の作文、面接の校内選考で選ばれた1、2年生9人が26日から2泊3日の予定で訪問。日本と同じく、現地の学校で一緒に活動し、生徒宅に宿泊する。

弁事所では、羅国隆文

に「したい」と意気込んでいた。